



夢の舞台へ

埼玉県ジュニアゴルフ選手権を連覇し、ゴルフ強豪校のエースとして活躍する兄。その兄の背中を追い、関東大会、全国大会出場を目指す弟。ゴルフに情熱を注ぎ、「夢の舞台」を目指して、日々、練習に打ち込むアスリート兄弟がいます。



くりはら ゆう 栗原 悠宇さん(写真右)
埼玉県高等学校2年生/ゴルフ部所属、
関東ゴルフ連盟指定強化選手
くりはら はると 栗原 遥大さん(写真左)
藤中学校1年生



きっかけは…父

「うまくなれば、お父さんとの時間が増える。ゴルフをやろう」。悠宇さんが決意したのは、小学2年生でした。試合には4年生から出場。「成績は下から数えた方が早いぐらいの順位。悔しくて、毎日、練習するようになった」という悠宇さん。6年生で県ジュニアゴルフ選手権優勝、中学では、2年連続で世界ジュニア、日本ジュニアに出場。「自信が付き、さらにゴルフに夢中になった」と振り返りました。

完璧を目指して…努力

昨年、高校に進学すると、ゴルフと向き合う時間が増え、トレーニングにもすっかり取り組んだことで、体も技術も成長。高校初の公式戦では、多くの年上の強豪を抑え、好スコアで優勝しました。

その後、「何もかもうまくいかなかった」と突如不調となり、予選を通過できないことも。しかし、練習に励み、見事に乗り越え、今年6月の県ジュニアゴルフ選手権では、目標の「連覇」を達成。「でも、目指すスウィングはまだまだ。完璧を目指して努力している」と、向上心は尽きません。

兄の背中を追いかける…弟

悠宇さんには、4歳違いの弟・遥大さんがいます。「兄のゴルフ

に打ち込む姿を見て、自分も始めた」という遥大さん。得意なクラブは、兄と同じドライバー。「距離は出ないが曲がらない」ところが強みだと言います。現在は、関東大会、全国大会への出場を目指しています。

家族への思い…感謝

「今の自分があるのは、両親と祖父母のおかげ。感謝の気持ちを忘れずにいたい」と悠宇さん。また、遥大さんは「プロになって恩返しをしたい」と話してくれました。二人からは両親、祖父母への強い感謝の思いが伝わってきます。

鶴ヶ島から世界へ…

二人には大きな目標があります。「みんなから愛され、世界で活躍できるプロゴルファーになりたい」という悠宇さん。「プロゴルファーになって世界4大会を制覇したい」という遥大さん。目指しているのは高く険しい山の頂き。しかし、二人の視線の先には、はつきりと「夢の舞台」が見えています。羽ばたけ！鶴ヶ島から、世界へ…。



編集後記

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでミャンマーのホストタウンとなった鶴ヶ島市(P2-3参照)。この機会にミャンマー語を覚えて、ミャンマーの方々とはふれ合い、2020年の本番では、ミャンマーの選手を応援しましょう。オリンピックを通して、スポーツの枠を超えた交流を♪まずは、8月26日の「鶴ヶ島水かけまつり」から！ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ ☎ 10200001@city.tsurugashima.lg.jp



笑顔の天使

“お空の下で♪”

きのしたゆうき
木下結稀ちゃん
(3歳1か月)

応募はこちら

